

金沢錦丘中学校は、5月に青少年赤十字（JRC）に加盟しました。

青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神（人道、公平、奉仕 など）に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人びととの友好親善の精神を育成することを目的として、さまざまな活動を学校教育の中で展開するものです。

本校は、毎年50を超える小学校から生徒が集まり、お互いを尊重し認め合い、卒業研究では世界中の課題について深く考え解決する方法を提言する学びがあります。日常の活動がJRC活動につながっていると考えます。

JRCの実践目標は、「気づき」「考え」「行動（実行）する」ことです。4月には、このような行動ができる生徒を目指しましょうと呼びかけました。

さて、ある日の夕方、学校近くのバス停で、帰りのバスを待っている生徒を見かけました。その生徒は、リュックを胸に担ぎ本を読んでいた。混雑したバスの中で、乗客が通路を通りやすいようにリュックの持ち方マナーが示されています。きっと乗客の大変さに気づき、考えた行動なのでしょう。

皆さんの学校生活、友達関係に大小の課題があると思います。そんな課題に気づき、どうしたら解決できるかを考え、少しでも行動できる生徒を目指してください。これは、生徒だけでなく、我々大人、そして世界中の人たちにも求められることです。